

●今月の『ポピー』の算数で学習するおもな内容と大切なことがらです。

📖の数字は、教科書のページ数です。

1年 ひきざん(2)

📖 110~119

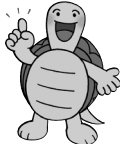
- 14-8, 13-6のような、くり下がりのあるひき算ができるようにします。

〈計算のしかた〉

$$\begin{array}{r} 14 \\ - 8 \\ \hline 10 \quad 4 \end{array}$$

- (1) 14を10と4に分ける。
- (2) 10から8をひいて2。
- (3) 2と4で6。

ひかれる数を
10といくつ、に分ける
ことがポイントだよ。



くり上がりのあるたし算やくり下がりのあるひき算は、上の学年での筆算で使われます。ひき算カードなどで、しっかり練習させましょう。

2年 かけ算(2)

📖 26~39

- 5, 2, 3, 4のだんの九九にひきつづき、**6のだん**, **7のだん**, **8のだん**, **9のだん**, **1のだん**の九九の練習をします。
7のだんは唱えにくく、まちがえやすいので、特に気をつけましょう。
九九の図を作って、目で見ながら、何度も練習しましょう。

くり返し練習すれば、だいじょうぶよ。
たし算やひき算と組み合わせた問題も
考えてみよう。



3年 1けたをかけるかけ算の筆算 📖 22~33

- かけられる数が何十・何百のかけ算や、**(2けた)×(1けた)**の計算、**(3けた)×(1けた)**の筆算ができるようにします。

$$\begin{array}{r} 13 \\ \times 6 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 13 \\ \times 6 \\ \hline 78 \end{array}$$

くり上げた数を
小さくかいておこう。

- かけ算の暗算のしかたを練習します。

$$\begin{array}{c} \textcircled{1} \\ 26 \times 3 \\ \textcircled{2} \end{array}$$

- ①三二が 6, 60
 - ②三六 18
- あわせて 78

かんたんなかけ算は、
暗算でできるように
しようね。



4年 がい数とその計算 📖 20~29

📖 20~29

- 四捨五入のしかたを知って、**がい数**が求められるようにします。

切り捨て

$$\begin{array}{r} 5349 \\ \text{0とみる} \\ \hline 5000 \end{array}$$

切り上げ

$$\begin{array}{r} 5785 \\ \text{1000とみる} \\ \hline 6000 \end{array}$$

ポイント

求める位の1つ下の
位の数字を四捨五入
する。

- がい数を使った計算(がい算)で答えを見積もります。
・和・差…求めようと思う位までのがい数で計算。
・積 …上から1けたのがい数で計算する。
・商 …わられる数を上から2けた、わる数を上から1けたのがい数で計算する。

5年 平均とその利用, 単位量あたりの大きさ 📖 150~162

- 平均の意味を知り、**単位量あたりの大きさ**の考え方をを使って、いろいろなものが比べられるようにします。

平均…いくつかの数量を、同じ大きさになるように
ならしたものを、それらの数量の平均という。

$$\text{平均} = \text{合計} \div \text{個数}$$

こみぐあいの比べ方①1 m²あたりの人数で比べる。
②1人あたりの面積で比べる。

人口密度…1 km²あたりの人口のこと。国や都道府
県などに住んでいる人のこみぐあいを表す。

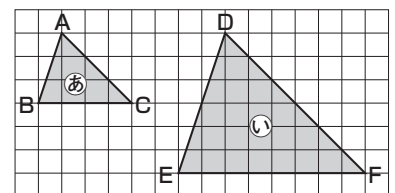
$$\text{人口密度} = \text{人口} \div \text{面積(km}^2\text{)}$$

6年 図形の拡大と縮小 📖 128~141

📖 128~141

- 図形を**拡大**, または, **縮小**するしかたを学習し,
縮尺についても学びます。

拡大図 ↔ 縮図



- ・対応する辺の長さの比はすべて等しい。
- ・対応する角の大きさは等しい。

